

OIS**大阪府インテリア設計士協会**〒541-0059 大阪市中央区博労町1-6-14
TEL. 06-6262-1488 FAX. 06-6262-1553URL <http://jp-interior.or.jp/ois>
blog <http://oisblog.exblog.jp>
E-mail ois@jp-interior.or.jp

発行人：河野
 編集人：田原（第3事業部長）
 スタッフ：石渡・今井・加茂・五代
 濑部・福田・山田
 河野（第1事業部長）
 事務局：岡崎・奥田

新企画

新しい会員を迎えて
 ヴァージョンアップ！

No.96

5年間の活動を振り返って



第16回の瀬部顧問と広畠部長

「気づけば終わっていた」、が正直な感想です。

はじめは単純に、何か新しい企画を！ということで提案させてもらったものが、この回数まで続くとは思ってはいませんでした。第1回が始まるときはいろいろ考えては、ああでもないこうでもないと自問自答して準備して、飲んで騒いで？その結果ぐでんぐでんに酔って帰ったことを思い出します。

途中、マンネリ化になってるんじゃないか？だから集まりが悪いのでは？ということもあり、継続か廃止かという時期もありました。でも、楽しいことがあると嫌なこと、苦痛なことを忘れ準備をします、やはり人間欲張りになり、あれもこれもやりたい！・・・となる自分もいました。また、いい経験として怒られたりもしました。結果こうやって約5年間、今まで継続できたのも皆さまのおかげ、本当に支えてくれる人たちがいたことに感謝の気持ちいっぱいです。



Designer's Bar と青年部の活動

青年部顧問 濑部 明

私が青年部長を引き継いだ時、先ずは運営にあたる者だけでも定期的に集まることを企図しました。運営委員会という会議を開き、終わりには必ず次回日程を決め、場合によっては宿題も出しました。新体制発足後4ヶ月でデザイナーズバーが誕生し、回を重ねる中で思いつきや行き当たりばったりではなく、チラシはいつまでに発送されるべきか、当日準備は誰が何をするかなど、企画を立てて着実に実行に移す術をメンバーみんなで作り上げることができ、運営自体は非常にスマートにできるようになっていきました。そしてデザイナーズバーで自信をつけ、他の企画(MANA-BOZEやASO-BOZE)を誕生させることができました。

しかし、どんな企画でもありがちなマンネリ化との戦いは避けられず、みんなで必死に知恵を絞り、さまざまな企画(勉強会、ゲームなど)を盛り込んでいきました。私自身は戦意喪失気味ではありました。特に広畠さん、園田君は青年部だけでなくOIS会員全てが触れ合える貴重な企画の温存を図るべく、ほぼ全ての企画立案、当日準備運営に携わり、反省を踏まえつつ常に前向きに取り組んでくれました。

今回の区切りは「みんな来てくれへんからや～めた！」ではなく(その方が楽ですが)、あの手この手で「みんな来てくれるまでがんばる！」という戦術転換です。会員諸姉諸兄におかれましては、「温かく見守る」だけではなく是非とも「冷やかし」に来ていただければ幸いです。戦術指南をしていただける「軍師」も募集しております。今後ともよろしくお願ひいたします。

青年部 園田 寛明

皆さんとは、参加していただいた方々、理事、事務局、青年部のメンバー全てです。本当に楽しい思い出となっています。その思い出を次へ、いろんな方々と共有できるような面白いものにしていけたらと思っています。

もう一度「デザイナーズバーをやりたいか？」と尋ねられたら、何度も何度も、皆で集まることをやりたいと答えるでしょう。ありがとうございました。



第8回のチョロQゲーム



Designer's Bar FINAL

青年部部長 広畠直子

ファイナルとなるデザイナーズバーが8月1日に、コラムデザインセンターで行われました。参加人数は20名で、最近では多数のご参加をいただけたかと思います。いつものように美味しい手料理とお酒をいただきながら、皆さん楽しそうに会話を交わされていました。賛助会員・二加屋の杉本社長にもご参加をいただき、今後協会の前向きな在り方としてのお話しもいただきました。

ファイナルということで、皆さんに喜んでいただるために何をしようかと、青年部会で色々と思案しましたが、「谷あ

り山あり人生ゲーム」と題した、ジャンボあみだくじを行いました。面白おかしい人生を楽しんでいただけたと思っています。景品は夏らしく、また、予定していましたDVD映像による打ち上げ花火に合わせ、花火セットでした。

ジャンボあみだくじはOISの定番アイテムの一つで、今回初めて作成側になりましたが、紙も大きくて結構たいへんな作業でした。でも準備も含めて最後のいい思い出になりました。いつも皆さん方は楽しく交流をされている様子ですが、今回はいつも以上に会話が弾んでいたのが印象的でした。ファイナルにふさわしく盛り



上げていただき、皆さま、本当にありがとうございました。

19回も行ってこれましたのは、皆さまのご参加のおかげと、改めてお礼申し上げます。

かれこれ5年前からになりますが、青年部主催の行事の中でも、一番重要な行事になっていたかと思います。青年部としては、気軽に楽しく皆さんに交流を深めていただく場となるように努めたつもりです。私自身も、デザイナーズバーのおかげで、皆さんと交流を深めさせていただけたことはもちろんですが、運営委員会の中で、毎回企画を考えたり、話し合いを重ねてきた楽しい思い出も、心に刻まれています。デザイナーズバーのおかげで、いかにコミュニケーションが大切かということを実感させていただきました。デザイナーズバーとしては最終回になってしまいましたが、また新たな形で、楽しくコミュニケーションをとっていただける場を企画を致しますので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

新企画！ TABE-YOZE

早速ですが、青年部新企画TABE-YOZEの案内(別紙)を同封いたします。

この企画は美味しいものを食べたり飲んだりしながら、楽しくコミュニケーションをとっていただくことを目的にした企画です。お店に行ったりするだけではなく、様々な「食べる」場面を企画していきたいと思っています。

初回は理事で青年部の矢野さんのご主人が経営されているフレンチのお店です。人数に限りがありますので、皆さまお早めにお申し込みくださいね。



カフェレストラン「花菜」と 石窯焼きパン「おに工房」

田原妙子

素敵なカフェレストランが、大阪の泉北の山の中にありました。こんなところに・・・という縁深い山間の清流のそばに、手作りログハウスのカフェレストランがあり、隣には石窯焼きのパン工房があります。

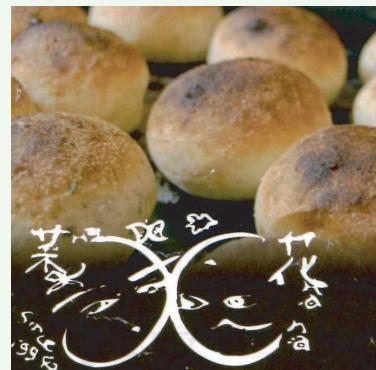
オーナー夫婦と数名の従業員で営まれ、厳選された地元の野菜をさりげなく手間暇かけて作られた料理やスイーツは絶品の味で、お洒落なメニューばかり。食器も手作り陶器です。

また、石窯の遠赤外線で焼いたパンの香ばしさも絶品です。ガス窯のパンでは翌日になると味が落ちますが、石窯だと逆に味が深くなるそうです。

道理で、レストランもパン工房もお客様が車で遠方からも次々来られますし、年齢も様々、パンは大量貰いの人が多いようです。

レストランの店内も手作りインテリアが素敵で、また、テラスは横を清流が流れ、風が心地よく、癒し効果も抜群で大人気。テラスはペット同伴可です。TV「ちんぽいぱい」でも紹介されました。

阪急山田の住宅街にも姉妹店があります。お値段がどちらもお手頃なのも嬉しいです。ぜひ一度ご賞味あれ。



cafe レストラン 花菜本店
おに工房(石窯パンの販売)

〒594-1133 和泉市春川町 97-1

TEL.0725-54-3088

営業時間 9:00~17:30

(土・日・祝9:00~18:00)
※火曜日定休日・祝日の場合は振替休日

ペーカリーカフェ

花菜 阪急山田店

〒565-0821 吹田市山田東4丁目

12-14 ハイツ上野 101

TEL.06-6876-7779

営業時間 10:00~18:00

※火曜日定休日・祝日の場合は振替休日

<http://www.e-hanana.com/>





今年の梅雨はあまり雨が降らず、連日33度を超えるうだるような暑い日が続いていました。7月18日(金)、まだ明るさが残る夕方、千里阪急ホテルのプールサイドに特設されたビアガーデンに元気な老若男女15人が集合。夕暮れ前の青空のもと、開放感に満ち溢れたプール際に席を陣取りました。青いプールの水の色が意外と涼しく感じられ、河野会長の発声で乾杯!よく冷えたビールが乾いた喉を潤わせ一気に飲み干し、2杯目3杯目とお代わり。時間が経つにつれ、日が落ちプールサイドの照明が点灯され、周りの情景が徐々に落ち着いた雰囲気となると時間を忘れて話が弾み、有意義な時間を過ごしました。

今回は参加者が少なかったので寂しいかなと思いましたが、学生会員も若い会員もシニア会員も皆満足、常に笑みが絶えないバ

ーティーでした。

ところで、ビアパーティーや新年会、忘年会はただ飲んで食べてワイワイ騒いで終わると思われがちですが、特に若い参加者にとっては大きな収穫になる場と確信しています。それは、多くの経験、知識、技術を持った先輩たちと同等の立場で話ができる、先輩たちは、自分の持っているものを若い会員に伝え教えるたいと思っているからです。

最近、いろいろな催しに参加する会員はいつものメンバーに偏りがちです。初めての人は参加しにくいと思いますが、自分から積極的に参加することによって、先輩達との輪を広げ、多くの知識や技術を得ることが出来るのです。会員としての特権をフルに活用し、皆さんでOISを盛り上げましょう。

(記・疋田 友一)



“温故知新” 富田林寺内町見学会

10月5日(日)、心配された台風18号は、私たちの見学したいという熱い思いを感じたのか薄日さえ差して終わるまで雨も降らなかった「富田林寺内町、町並み散策会」。

「日本の道100選」「重要伝統的建造物群保存地区」の指定を受けた町並みはすでに知る人ぞ知る南大阪の観光スポット。

詳しい説明は案内パンフレットや観光雑誌、建築雑誌に紹介されていることでもあり、当日参加できなかつた会員の方はプライベートで来られてもよいのでは・・・。

さて、ここでは違った感想を述べてみたいと思います。

今から40数年前、「寺内町」に5年ほど生活をしていた者として、今の整備された町並みは付近住民、並びに関係者皆さん努力の賜物と感じられる。

しかし、今は住んで居られない建物が多く、屋根の大掛かりな

修理を必要とする家屋があった。個性的なお店もあったが、はっきりいって覗いてみようかなと軽い気持ちで入るのは少し気がひけた。

町並みも立派に維持されているので、これからは散策でこられた人が気楽に入れる店が欲しいと思った。使われていない建物を、回遊式にしてテナント形式で色々な人たちが個性ある作品を販売される店、一軒一軒は大きくなくとも並べてあるものは個性的で・・・こんなことを考え想像していたら、ふと台湾の「九份(きゅうふん)」のレトロな雰囲気の階段伝い街道にある間口2m奥行1mほどの店が思い浮かんできた(インテリア設計士の感覚は衰えていない)。

古いものの維持と管理、難しいことではあるがいずれにしても、人が来てこそ維持管理にも張り合いができるもの。幸い大阪都心からも近く、関西空港からもそんなに遠くない、これから大勢の人が来くれそうな予感がしてきた。



寺内町交流館の前で説明を受ける参加者

外国人観光客1千万人、方法はいくらでも考えられる。

参加されたみなさんはそれぞれに思いをもって三々五々・・・帰路の駅に向かわれた。

「温故知新」・・・故きを温ねて新しきを知る・・・意義ある見学会であった。

(記・植村 哲)



お気に入りの観光地

アートの島『直島・犬島(香川県)』

鷺岳 夏希

この夏に1泊2日でアートの島、直島・犬島へ行きました。

1日目は朝6時ごろに大阪を出発し、車で岡山に行き、フェリーで直島へ渡り見学後ホテルに宿泊、2日目は犬島へ、というプランでした。

直島では、

- ・ベネッセハウス周辺（地中美術館→李禹煥美術館→ベネッセハウスミュージアム）
- ・本村エリア（巨大こみ箱アート→家プロジェクト→ANDO MUSEUM）
- ・宮ノ浦エリア（草間彌生の赤かぼちゃ→アイLOVE湯→ギャラリー六区→海の駅なおしま）

このようなルートで見て回りました。

島内の移動はレンタサイクルでしたが、道は高低差があるという前情報を得ていたので、電動で優雅に走りました。

直島で見た中でも、地中美術館とベネッセハウスミュージアムが私の中では1番お気に入ります。地中美術館は雑誌などでよく見る上空からのアングルで見ることが出来なかつたことは残念ですが、内部空間もとても素敵です。安藤建築らしく、打ち放しがとてもきれいです。トイレ空間も何とも不可思議な世界です(笑)。

ベネッセハウスミュージアムは外部と内部のつながりが分かりにくく、楽しみながら迷いました。気づかないようなところに作品があつたり驚きの見方があつたり、すごく楽しませてもらいました。地中美術館のジェームズ・タレルの作品、ベネッセハウス



地中美術館



ベネッセハウスミュージアム



家プロジェクト

ミュージアムの草間彌生の「南瓜」を見逃したことや、ベネッセハウスに宿泊できなかつたことが今回の旅では非常に残念です・・・。

2日目の犬島では、シーサイド犬島ギャラリー→犬島精錬所美術館→家プロジェクトというルートで見て回りました。

犬島は直島よりも規模が小さく、見学箇所も少ないので、午前中にほぼ見終わり、早めの帰宅しました。しかし、港に戻る途中で蜂に刺されるというハプニング・・・、蜂は本当に怖いです。首がすごく腫れてしましました。

犬島では美術館よりも、私は家プロジェクトの方が楽しませてもらいました。不思議に思う空間やおもしろい手法を使ったデザインなど、感動が多かったです。

久しぶりにアートに触れ、すごく満喫しました。

どちらの島でも、おもしろいアート作品や美術品、自然いっぱいの環境、素敵な建築物をたくさん見ることが出来、満足のいく旅でした。今回行けなかつた豊島や、見逃したところ、ベネッセハウスに泊まるという願いを叶えるために、また行きたいと思います。

この記事では伝わりきらないことがたくさんあると思いますが、正直書ききれないでの・・・。またお会いしたときにお話を聞いて下さい(笑)。

行ったことがある方もない方も、日常から離れて良い刺激になりますので、ぜひ訪れてみて下さいね。

伊佐家住宅 朝日 勝彦

京都府の南部に位置する八幡市、市街地を離れる美しい田園風景が広がっています。地元の農家の人が自宅や農業用倉庫の設計を頼まれしばしば訪れており、その旧村内に、ひと際目を引く古民家があります。

「伊佐家住宅：主屋」、重要文化財の指定を受けており、江戸時代中期の享保時代の建築であると確認されています。

江戸時代（徳川）は山城の国と称され天領地（幕府直営地）であったそうです。伊佐家は代々「庄屋」を務めましたが、この旧山城地方の典型的な庄屋造りと説明がされています。その茅葺き屋根の厚さ1m50cmといわれ、支える梁や柱も大層立派なもので

敷地周辺には堀の跡が残り、かつては近接する木津川から直接乗り入れも可能だったそうです。地元の人から、毎年秋には周辺集落から全ての年貢米がこの庄屋へ納められたと聞きました。

内部見学は予約制（10人以上、有料）で、外部からしか見ておらず、常々残念に思っておりますが、OISで見学会を計画し、一度は訪れてみたいものです。

現代の新築家屋では法規制、コスト面、材料、職方不足等々の問題で、伝統的工法の仕事を経験出来ません。今を生きる設計士の一人として当時の方々を羨ましく感じている次第です。



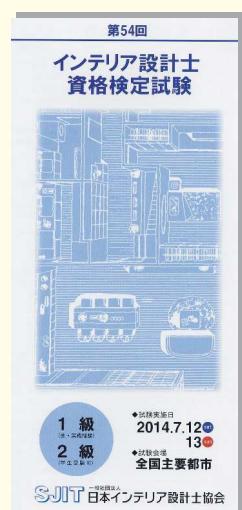
第54回検定試験報告

平成26年度のインテリア設計士資格検定試験は7月12～13日に実施され、全国で623人が受験し490人が合格した。そのうちOISは27人の受験に対し、別掲の20人が合格した。全員登録が完了し、設計士証書・資格登録カード・記念のラベルピンが送られた。

合格者名簿

<2級>

猪木 陽子	(社会)
上地 由理香	(芸術)
太田 凌暉	(中央)
川谷 内二奈	(芸術)
久保 晴香	(羽衣)
坂元 彩良	(芸術)
佐藤 博美	(芸術)
澤井 亜花里	(樟陰)
澤井 美穂	(四天)
杉山 咲希	(樟陰)
田形 幸	(樟陰)
高松 祐美子	(樟陰)
田中 芙季	(芸術)
谷口 史子	(羽衣)
橋本 聰子	(芸術)
沢屋根 みらい	(羽衣)
宮口 奈菜美	(羽衣)
山下 美咲	(樟陰)
吉村 南美	(芸術)
和田 朋与	(羽衣)



<凡例>

樟陰=大阪樟蔭女子大学
羽衣=羽衣国際大学
四天=四天王寺大学短期大学部
芸術=大阪芸術大学短期大学部
中央=中央工学校OSAKA
社会=社会人